

## Ⅱ 令和元年度 目指す学校像 グランドデザイン

教育目標

創造 思いやり たくましさ

重点目標  
(目指す生徒像)

- ・主体的に学習し、自らを伸ばそうと努力する生徒
- ・豊かな心で、相手の気持ちを考え行動する生徒
- ・心身ともにたくましく、ねばり強くやりぬく生徒

H30のものです。学校評価の項目に準じて変えます。

### <確かな学力>

- ・「授業中に自分の考えを発表したり、説明したりする」生徒を80%以上に！
- ・県中教研作成「学び合い10」※を活用した学び合う授業をすべての教科で実施！
- ・「発表」「説明」を視点とする研修、家庭学習の課題・支援のための研修を実施！

※「学び合い10」...主体的・協働的な学びを実現するための指針となる10項目。教科の特性に合わせて設定されている。

### <心の教育>

- ・「学校生活(授業や諸活動)全般において自分の考えを積極的に表現できる」と答える生徒を80%以上に！
- ・生徒が主体的に考える場面や議論する場を設定した道徳の授業を実施！
- ・Q-U検査※の結果を分析し対策を練るとともに、生徒との個別面談で活用！

※Q-U検査...アンケートにより、生徒個々の意欲や満足感、学級集団の状態を測定するもの。年2回実施している。

### <健康安全、体力向上>

- ・「自分の生活をふり返り、規則正しい生活習慣を目指して取り組んでいる」と答える生徒を80%以上に！
- ・保健体育の授業と部活動において、体力テストの県平均以下の種目に焦点化した取組を実施！
- ・保護者と職員向けに、健康保持増進に関する情報を提供！

- <生徒指導> ・「全職員で全生徒を」をモットーに、職員の共通理解のもと、生徒の自己実現の援助に努める。  
・「三川中学校いじめ防止基本方針」に基づき、未然防止、早期発見、認知後の対応を着実に実施する。
- <総合的な学習の時間> ・合唱組曲「阿賀野川」を歌いつぎ、地域の歴史や文化を学ぶ中で郷土愛を育む。  
・体験活動での気づきを深め共有することで、生き方を追求する姿勢を養う。
- <道徳教育> ・人権教育、同和教育との関連を明確にし、指導方法や教材の工夫及び体験活動の充実に取り組む。
- <特別活動> ・「協力的な学級」「自分たちで考える生徒会」「気力・体力を養う部活動」を目指し、継続的に指導する。

### 小中連携

【組織】 小中連携推進委員会および4部会(調整・学習・生徒指導・交流)の設置  
連携行事における連携実行委員会の開催

【学力向上】 学習・生活パワーアップ週間、相互の授業公開・授業参観、交流授業、  
学習ルール(学びの約束・家庭学習の約束等)の共有、徹底

【合同で行う行事・活動】 運動会、文化祭、避難訓練・防災体験、あいさつ運動、フラワーガーデン、  
合同昼休み(年2回)、PTA奉仕作業、PTA三役会 など

【その他】 小学校5,6年生と交流部活動(年1回)、情報交換会(児童生徒理解)

### 保護者、地域との連携・協働

- ・保護者、地域コーディネーター、学校評議委員の方を中心として、学校評価アンケートをもとにした情報交換を行い、地域や学校の課題について、幅広い意見を取り入れながら適切に連携を進める。
- ・合唱組曲「阿賀野川」を歌いつぐ会にむけて、地域の方やボランティアと協力して進める。

小中9年間を見通して育てたい力(三川小・中学校)

【主体性・積極性】 【郷土愛】 【乗り越える力】